

市立病院の新しい先生を紹介します

4月1日から、両津病院と相川病院に着任された先生を紹介します。



内科医長
神田 健史先生

「佐渡での勤務が通算3年目になります新潟市出身の神田です。今年度も両津病院と相川病院の両方に勤務します。市民の皆様を選んでいただける医療サービスを提供できるようがんばりたいと思いますのでよろしくをお願いします。」



内科医師
齋藤 悠先生

「今年の4月から両津病院と相川病院で勤務させて頂いてます齋藤悠と申します。僕は出身が雪深い六日町(現魚沼市)なので、気候の良い佐渡での生活がとても楽しいです。みなさんが色々相談して下さい様な医師になれる様、頑張ります。」



歯科医師
大鳥居 淳先生

「4月より佐渡市立両津病院口腔外科で勤務しています、大鳥居淳と申します。患者様、皆様の訴えに対して、極力お答えできるよう努めていきたいと思っておりますので、お悩み等ございましたら、気軽に御相談下さい。よろしくお願い致します。」

ありがとうございました 退任行政相談委員に感謝状の贈呈

3月31日で行政相談委員を退任されました齋藤多嘉治さん(赤泊地区)に対し、総務大臣の感謝状が贈呈されました。

齋藤さんは、平成3年4月から14年間、行政相談委員としてご尽力をいただきました。

その永年の功績をたたえるものです。大変ありがとうございました。

また、4月1日から、臼杵一男さんが新たに就任されました。

行政相談委員は、毎日の暮らしの中で、国の行政機関や特殊法人の業務、県や市が国から受託している業務や補助を受けて行っている業務などについての苦情や要望に応じ、その解決や実現に向けてのお手伝いをします。



平成16年度 コミュニティ助成事業



宝くじは、豊かさ楽しくカラ持ち。
宝くじは、広く社会に役立てられています。

加茂歌代鬼太鼓組(両津地区)では、自治宝くじの助成金であるコミュニティ助成事業の助成を受けて、鬼太鼓の面と太鼓を整備しました。

加茂歌代鬼太鼓組では、を活用しコミュニティ活動の更なる活性化を図っていくことにしています。

コミュニティ助成事業とは、(財)自治総合センターが、自治宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源とし、宝くじの普及広報を行うとともにコミュニティの健全な発展を図ることを目的に様々なコミュニティ活動に助成を行うものです。

